

創刊110周年記念

誇れるふるさと

24地区リレー

〈vol.15〉

〈藤山④ 散策マップ〉

霜降山から広がる丘陵地帯や瀬戸内海に注ぐ厚東川、南部の工場地帯など変化に富んだ景観が魅力的な藤山地区。JR宇部線の岩鼻駅を出発点、居能駅を終着点としたコースを歩き、地区の歴史や自然に触れてみた。



桜の名所や神社仏閣

起点の岩鼻公園、夕日も見どころ

岩鼻公園(①)写真にはJR岩鼻駅から約10



分まで到着。桜が植樹され、春には花見客でにぎわう。厚東川の河口部を一望でき、夕日も見どころの一つ。第26回UBEピエンナール(現代日本彫刻展)に出展された彫刻「orange」(オレンジ)

ジ)も設置されている。藤山小のプラタナス(②)は元外務大臣の青木周蔵から贈られたもので、樹齢120年の同校のシンボル。小高い丘の上に立つ校舎に向かって整備された石畳は、90年の歴史を持つ。上条3丁目の西宮八幡宮(③)では、ちよつ鉢を四季折々の花で飾った「花ちよつ鉢」が楽しめる。域住民が毎年8月に奉納している。独特の口説くは、島原の乱にも出陣し(とき)に合わせて踊る。た元武士の了善が建立。戦死した弟を弔うため、仏門に入ったという。国道190号を越えて居能駅方面に向かうと、居能町2丁目の三嶋神社(⑤)に着く。同社に伝わるのが、市の無形民俗文化財に指定されている「居能盆踊り」。江戸時代後期に流行した疫病を鎮めるために始まったとされ、地域住民が毎年8月に奉納している。独特の口説くは、島原の乱にも出陣し(とき)に合わせて踊る。

今回のコースからは外れるが、中山には「中山観音」の名前で親しまれる廣福寺もある。ぜひ足を運んでほしい。次回は琴芝地区。24日スタート。